

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

持続可能な地区社協の活動のあり方を検討する

事業名

地区社協活動の効率化と事業内容の見直し

地域の課題（背景）

- ・地区社協活動を地域住民に知ってもらい、ボランティア活動への参加を呼び掛ける努力を継続する。
- ・ボランティアの高齢化に伴い、無理な活動はしない。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

（会議・打合せ）

- ・打合せの効率化のため、SNSなどの手段を活用する。。
- ・運営委員会は年6回開催する。
- ・理事会は年2回以上開催し、石津地区の課題抽出を行う。
- ・評議員会は理事会からの提案を基に、原則年1回以上開催する。

（会計事務）

- ・事務所の整備、保有車両などの維持・保全を図る。
- ・海津市、海津市社協と連携し、会計事務の適正化に努める。
- ・管理人材の育成を図る。

（情報発信）

- ・「石津地区社協だより」を年6回発行し、各区、自治会に配布する。
- ・SNSなどを活用した情報発信に取り組む。

（その他）

- ・石津地区社協設立（2011.1）から15年の節目を迎えるため、記念事業などを企画する。

自助(自分でできること)

- ・「石津地区社協だより」の内容充実のため、編集委員会を月2回開催する。
- ・市内の地区社協との意見交換、共同などに取り組む。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・情報の提供（組織、活動実態など）。

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	高齢者の移動手段の確保
事業名	
高齢者移動サービス	
地域の課題（背景）	
・地域の「高齢化、独居化」が進み、重点的に取り組むべき事業である。 ・近年利便性が向上したデマンド交通にすら不便を感じる高齢者がいる。「ドア・ツー・ドア」での支援が必要。 ・事業を支えるボランティアの高齢化がさらに進み、退任者が増えている。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・ボランティア（運転、予約受付・配車）の発掘に自治会などに協力を依頼する。 ・デマンド交通網とのマッチングを進める。 ・利用者情報を「見守りネットワーク」などへ提供するなどして地域で高齢者を支える。	
自助(自分でできること)	
・区長、自治会長、民生委員児童委員と連携し、ボランティア活動への協力依頼をするとともに各地域の高齢者の生活状況を見守る。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・参考となる情報の提供。 ・必要経費に対する助成。	

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	高齢者の憩いの場の提供
事業名	
石津地区サロン運営事業	
地域の課題（背景）	
・高齢化、独居、核家族化が特に進む地域である。 ・高齢者が集う機会がなくなり、交流の場が少ない。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・毎月1回（第4金曜日）に地区社協事務所にて「コーヒーサロン」として定期的を開催する。 ・サロンに合わせて、朝市（野菜や果物など）を開催し、参加者の増員につなげる。	
自助(自分でできること)	
・「地区社協だより」の掲載による広報と口コミにより参加者を集める。 ・「朝市」出品者を増やし、内容を充実させる。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・市内、市外のサロン運営等の情報提供。	

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	地域コミュニティの核である小学校との連携
事業名	
世代間交流推進事業	
地域の課題（背景）	
・地域での交流を図る機会が減少している（少子化）。 ・世代交流の活動や行事が減少している。 ・石津小学校を中心とした「コミュニティスクール」活動に協力を求められている。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
①米づくり体験活動（石津小学校5年生対象） ・農事組合田鶴ファームおよびJAにしみの経済営農センターの協力を得、地区社協の特徴に合わせた支援を行い「米生産」の1年間の体験学習を行い、児童に地域とのつながりを感じてもらう。 ②さつま芋作り体験活動（石津小学校、認定こども園に協力） ・田鶴地区の農業ボランティアの指導を得て、地区社協の有志も参加する。他地区社協からの協力を得て「焼き芋パーティー」を広域連携での開催支援をする。 ③福祉標語の募集 ・石津小学校の6年生を対象に、福祉に関する標語を募集する。 ・全員に参加賞を贈呈し、優秀作品（12点）を石津地区社協だよりに掲載する。	
自助(自分でできること)	
・農業ボランティアなど、活動協力者を募る。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・他地区の開催状況等の情報を提供して欲しい。	

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり
事業名	
ボランティアにより登録車両を活用した地域内パトロールの実施	
地域の課題（背景）	
・空き家などへの「忍び込む」や空き巣などの犯罪の発生、小学校児童の下校時の安全確保への対策が必要な状況。 ・行方不明高齢者やごみの不法投棄など、行政機関との連携が必要な事案が発生する恐れがある。 ・ボランティアの高齢化と減少。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・青色防犯パトロールを実施することで安全対策ができている地域であるとアピールをする。 ・ボランティア参加者の確保に努め、パトロールの回数を維持する。 ・行方不明者の捜索やごみの不法投棄の発見などの活動。 ・石津小学校、行政、警察等との連携、情報共有。	
自助(自分でできること)	
・児童の下校時間帯を中心とした見守り活動。 ・区、自治会との連携およびボランティアの協力依頼。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
警察との連携、情報の提供。	

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり
事業名	
災害対策	
地域の課題（背景）	
・災害はいつ発生するか分からないが、必ず発生することを前提とした対策をする。 ・区、自治会は災害発生時は住民の安全確保の担い手となることから準備や訓練の必要がある。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・防災士会や行政機関と連携し、学習会や講演会を計画する。 ・区、自治会との連携事業を実施する。	
自助(自分でできること)	
・防災士会との日常的なつながりを保つ。 ・地区社協運営委員会での情報共有。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・行政機関からの情報や物品の提供。	

令和8年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題	子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり
事業名	
スクールボランティア	
地域の課題（背景）	
・車社会となり、児童の登下校時の安全確保。 ・ボランティアの高齢化による活動の低下傾向。 ・夏季の熱中症対策（低学年児童の遠距離下校）支援。	
推進方法（地域でできることをより具体的に記入）	
・石津小学校と連携した登下校時の見守り活動を継続する。 ・区、自治会と連携してボランティアの確保を図る。	
自助(自分でできること)	
・通学距離2km以上の1，2年生児童を熱中症対策として保有車両を使用し、下校支援を行う。	
公助（行政や社協に依頼すること）	
・地域の運転手への安全運転の啓発。 ・他地区の活動団体との情報交換会などの実施。	